



2020年11月5日

各位

会社名	キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代表者名	代表取締役社長 荻原 豊 (コード番号 4569 東証第1部)
問い合わせ先	グループ経営企画統轄部 部長 谷藤 功典
電話番号	03-3525-4707

新型コロナウイルス検出試薬  
「SARS-CoV-2 GeneSoC N2 杏林」の発売について

当社の子会社である杏林製薬株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：荻原 茂、以下、杏林製薬）は、マイクロ流路型遺伝子定量装置「GeneSoC®」（以下、「GeneSoC®」）を用いた新型コロナウイルス検出試薬「SARS-CoV-2 GeneSoC N2 杏林」（以下、本試薬）を、12月上旬を目処に発売いたします。

本試薬は、当社従来品より新型コロナウイルスの検出感度が高く、厚生労働省健康局結核感染症課及び国立感染症研究所による「臨床検体を用いた評価結果が取得された2019-nCoV 遺伝子検査方法について」2020年10月23日版において、新型コロナウイルスに対する陽性一致率100%、陰性一致率100%として結果が公表されています。また本試薬は、公的医療保険適用の対象となっており、「GeneSoC®」を用いて新型コロナウイルスを15分程度（前処理時間を除く）で検出することが可能です。

杏林製薬は現在、呼吸器感染症、性感染症等において「GeneSoC®」専用の研究用試薬を開発しており、体外診断用医薬品としての発売を目指しています。

今後とも、新型コロナウイルスをはじめとした感染症における、PCR検査の時間短縮等、さらなる検査体制の充実、及び迅速な検出方法の構築に向け、より一層の貢献をまいります。

なお、本件の2021年3月期の連結業績予想に与える影響は軽微です。

以上